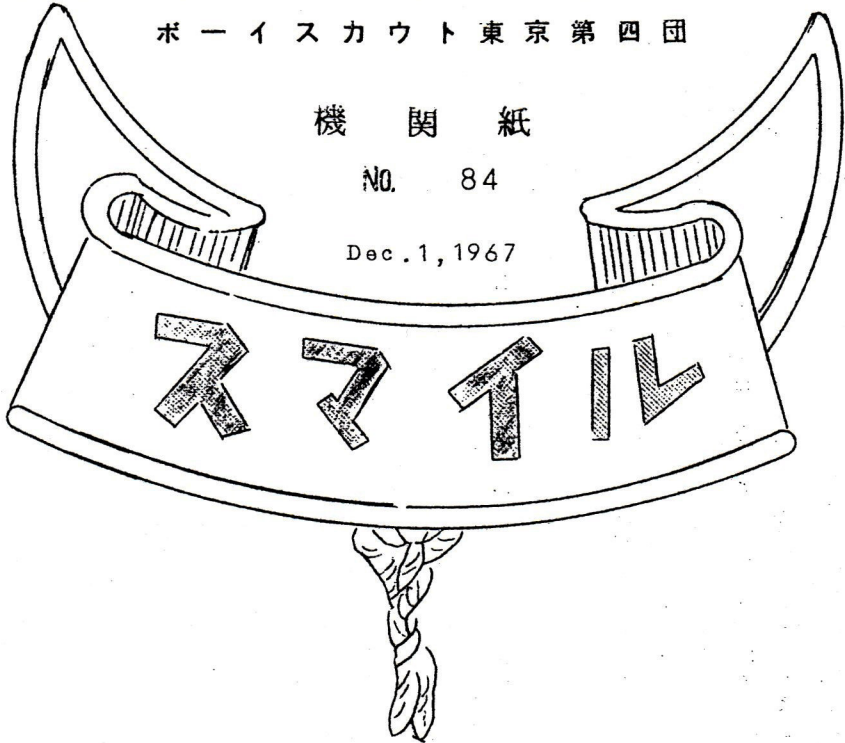


ボーイスカウト東京第四団

機関紙

No. 84

Dec. 1, 1967



万人のクリスマス

育成会長 飯

清

クリスマスは今では世界的な祝日になりました。教会はもちろん、デパートでも街頭でも、仏教系の幼稚園でさえクリスマスの行事がもたれるほどになってきました。

これに対し、教会関係の人々がにがにがしい顔をして批判の声をあげ、「われこそはクリスマスの本家である」式のスポンサー面をするのは、気持は判らぬではありませんが、まるでクリスマスの精神を忘れていきます。

クリスマスとは、神が全世界の人を救うために、その独り子をこの世に送って下さったことを憶えて祝う日です。「全世界を救うために」です。神様はごく少数のクリスマスチャンだけが救われて天国にはいることができれば、残りの大多数の人々は地獄に落ちて、滅亡してしまってもよいなどとはお考えになりませんでした。キリストは「すべての人を救うために」馬小屋に生れ、「すべての人を救うために」十字架の上に死なれました。敵と呼ばれるような人々のためにさえ、キリストは祈り、許しの手を伸ばされたのです。だから、もしキリスト者や教会が、クリスマスを自分たちだけのものとして独占し、世界の人々の喜びの気持ちに水をさそうとするなら、およそキリストのお気持とは反対のことをしてしまっていることとなります。

キリストは、キリストを知らず、受け入れず、唾をはきかけ、打ち叩き、あげくの果には殺そうとした、そんな無関係の人々を愛しました救うために、お生れになりました。

クリスマスとは、このキリストの誕生を祝う日です。クリスマスとは、このキリストの気持ちにならって、みんな仲良くする日です。クリスマスは、万人のお祭りなのです。

(靈南坂教会牧師)

ス・マ・ス
マ・ス・マ・ス
あ・ち・ら

二千年前の十二月二十四日の夜、
ユダヤのベツレヘムでイエス・キ
リストは貧しい大工の子として生
まれました。この時、東方より星
に導びかれてやって来た三人の博
士が、幼な子キリストを神の子と
して礼拝しました。

そのクリスマスが今年もやってきます。
街にはジングル・ベルが鳴り、ツリーが飾
られ、贈り物が交換されます。

この同じ夜を何十年も何百年も前の人達
はどこでどんな風にお祝いしたのでしょ
う。

クリスマス・キャロル

イエスご誕生の時、天使の合唱がひどい
たように、クリスマスは美しい歌声によっ
て祝われます。

キャロルとは、もともとは踊りをともな
った民謡のことで、屋外で歌いながら全員
が輪になって楽しく踊るときの歌でした。

それで、その中にはキリスト教と関係の
ない習慣や伝説のうたい込まれたものもあ
るわけです。またノエルというのはクリス
マス・キャロルのフランス語ですが降誕節

という意味でもありクリスマスを祝う言葉
の一つです。

クリスマス・ツリー

これは、ゲルマン人の森の聖樹を祭る古
い習慣に結びついて生まれたものと考えら
れています。

クリスマス・ツリーの一番古い記録には、
一六〇〇年頃のドイツがあげられます。
それには、金銀のモールを飾り、お菓子を
吊したと書いてあります。イギリスに伝わ
ったのは十九世紀ごろです。

お国ぶりのクリスマス料理

日本のお正月料理のように決まったもの
はありませんので一つの国の中でもさまざま
ちですが代表的なものでは――

イタリヤでは真夜中のミサに出たあと、
正式なクリスマスマスの食事は二十五日の昼に
します。そしてオンドリの丸焼を食べます。
フランスでは同じようにニワトリの丸焼き。
アメリカはご存知の七面鳥、これは別に意
味があるわけではなく、ニワトリよりも大
きく最大級のごちそうというわけで使うの
です。変わったところではノルウェーはトナ
カイの肉だそう、さすがはお国柄です。

サンタクロースと煙突

東方の三人の博士が幼きイエスを訪れて
黄金、乳香、没薬を贈ったことにちなんで

た。

ところで寒いヨーロッパの十二月には暖
炉は欠かせないものです。窓をしめきって
どんどん火をたき、夜寝る時、残り火で乾
くようにと雪でぬれた靴下をそこにつつし
ておきます。深夜の訪問者サンタクロース
の入口は、この空に向かって開いている煙
突しかなかった。そして降りたところ
は靴下が下がっている。贈物を入れるのに
ちょうど都合がよいというわけです。

クリスマスのご案内

クリスマス礼拝(スカウト合同)

十六日(土)四時~五時 礼拝堂

ご父兄の方々も是非ご出席下さい

年少隊クリスマス

二十一日(木)六時~八時半

少年隊クリスマス

二十三日(土)三時~五時

ガールスカウトと合同祝会

年長隊クリスマス

二十三日(土)六時~八時

上級スカウトと合同祝会

去年のクリスマス会

一組 河埜 祐一

去年は、れいはい堂に行き、イエス様の話やいろいろなことを、ぼくしさんやたい長からききました。そして、せいかたいが歌を歌ったり、話す人（カブ）がイエス様の話をしました。それをお母さんがたに見てもらいました。

それから、かいかこうどうに行き、おべんとうやおかしをもらいました。たべながら、組のげきをみました。ぼくたちのげきは、おかしのはこをわったりするげきです。ぼくたちのほかのくみのげきもおもしろかったです。

そして、こうかんプレゼントをしました。

「二ばんのかたー」というと、カブやお母さんができてプレゼントをもらうのです。中には、プラモデルやふでばこなどはいっています。そして、クリスマスのお終ったあと、カブで集合し、ごみをかたづけました。とても、ごみがたくさんありました。そして、たい長の話をきいてかえりました。

クリスマス会の思い出

二組 安藤 昭良

ぼくたち4だんのスカウトは教会でやっているのですが、毎年クリスマスをやります。で

も、中にはつまらないことが少しあります。けれど、どちらかと言うと楽しいことの方が多いです。きよ年のクリスマスではプレゼントにガゼが「まいだけだったのでもうくやくして、つまらなくて、くだらなくて、クリスマスでこんなにうれしいのは初めてでした。

楽しかったことはいっぱいあります。いま一組の組長をやっているみたけ君はクリスマスしゆく会でオペレッタに出て悪役のからすをやったからすをおっぱらうくわに

カブのページ

ぶつかりそうになって、ぶ台からおりてきてから「頭にきちゃったな。だってもう少しでぼくに当たる所だったもの。」と言ったのでぼくたちは思わずわらってしまいました。きよ年、ぼくは一組だった。そしてその一組のげきでサンタクロースが出てきておかしをまいたので、みんなわれ先にとりあつたことがある。またほかの組がみんなにキヤラメルを投げたり、たいへんなさわざになったことがある。

今年のクリスマスはぼくたち二組は「さるとぼうし屋」というげきをやります。今

年のクリスマスはきよ年よりより楽しくてプレゼントは男子にはプラモデルとか女子は人形など、男ならそのほしいものを、女の子ならそのほしい物をせんもんにやったらいいと思います。ぼくはこのようにクリスマスは毎年楽しいものだったらいいな、と本当に思います。

ほんとうのクリスマス

三組 菊池 千春

ぼくのクリスマスの思い出の一つには、ようち園の時のクリスマスがある。ようち園の時は、プレゼントの事しかおぼえていない、そのプレゼントは、みんながおかあさんとプレゼントのこうかんをした事だ。ぼくはおかあさんに、はりさしをプレゼントした。おかあさんは、マクラをくださった。おかあさんもまだ使っているしぼくも使っている。おかあさんに、「羊かいなん

かやつたでしよ。」と言われたので、羊かいならようち園の時も教会学校に行くようになった時もカブスカウトでもげきでやった事があるのを思い出した。その羊かい、イエスさまがお生まれになった時に一番さいしよにおがむ事が出来たのである。

いまでもプレゼントはうれしいが、クリスマスと言うのは、イエスさまのおたん生

日なのだから、プレゼントよりもイエスさまがお生まれになった日をお祝いするよろこびを考えた方がいいと思う。

クリスマス

B B 小松 忠和

今年も、あと一月あまりでクリスマスがやってくる。みんなが楽しみに待っているクリスマス。ぼくは、クリスマスと言うことばを聞くたびに、「マッチ売りの少女」のことを思い出す。

マッチ売りの少女の家は、とても貧しかった。少女の父親は、自分は働かず、毎日、酒ばかり飲み、マッチが売れぬと言っては、少女をしかってばかりいた。

あるクリスマスの晩、少女はマッチを売るために、雪のふる町を歩いていた。クリスマスの夜なので、町は静かであった。まわりの家々は、ケーキを囲み、そして、ごちそうをならべたテーブルからは、あたたかにおいがもれていた。……………
だれも通らぬ雪の道を、「マッチはいかが」と言っている少女の声が、ぼくのむねに聞こえてくる。

あたたかなまわりの家々のクリスマスのようすを、少女はどんな気持で見ていた

ろうか。

寒さのために売物のマッチをすって、手をあたたため、その炎の中から、ケーキや、七面鳥や、そして少女の一番すぎだったやさしかったおばあさんの顔が見えた時の少女の気持は、どんなだったろう。
やさしかったおばあさんのむねにだかれて天国へ行った少女……………

十二月二十四日が近づくと町はネオンにかがやき、シングルベルの音楽やツリーのかさり物でいっぱいになる。楽しそうに町

ボーイのページ

を行く人々、クリスマスのプレゼントを楽しみに待つ子どもたち。

ぼくは、クリスマスに、おいしいごちそうやプレゼントがもらえて、とってもしあわせだ。

クリスマスをむかえて

ドック班 手塚 真

クリスマスは、子どもにとっては、楽しい日です。

しかし、ぼくたちは、ただ、プレゼントをもらったり、みんなで、ケーキを食べたりするのが楽しいだけで、ほかのほんとう

のクリスマスとしての意味を聞こうとはしません。

ただ、プレゼントやケーキを食べるだけなら、クリスマスの意味がないし、クリスマスに生まれた、イエス・キリストもそれだけでは、よろこばないでしょう。

その点については、ぼくにも、反省しなくては、いけないところもあります。それは、クリスマスにかぎらず、たん生日にしても同じことです。ぼくは、いつでも、これさいわいと、自分のほしかった物を、むりにたのんでいました。

クリスマスというのは、イエス・キリストのたん生日なので、自分のためのクリスマスではなく、自分のたん生日をいわうように、イエス・キリストのたん生日をいわうって、自分だけで、たのしまずに、キリスト教の信者として、みんなで、たのしむようにしたいと思う。



スカウトへの疑問

年長隊長 日下部 英一

スカウト諸君は毎週土曜日の午后靈南坂教会に学校を終えて、元氣良く集会にそれぞれ参加しています。

そして、スカウトに入団した時は、一体何をするのかと、家族の人に薦められてスカウトに入った人も、又友達をみて入った人も、それぞれに真剣さと不安を合せもって来ていたことと思います。それから一年、二年とたち、スカウトの集会にも慣れ、年長隊のスカウトへとボーイスカウトより体格もずば抜けて大きく、立派になり声も大人らしくなる頃、その最初に持っていた、何か新しい事を始める前に持つ勇氣、緊張が少しずつ減ってきてしまい、キャンドルサーピスでネッカチーフをつけてもらった時の新鮮さはスカウト各自の胸に残っていても、あまり思い起す機会もなくなっていると思います。

それは、時には、スカウト活動としてのキャンプや、ナイトハイキング等について何故スカウトの中で大切な位置を占めるのかという事を考えずにきてしまうことにも通じるのです。

何故皆なが暖かく、柔らかなフトンの中

でゆっくりと眠っているのに、自分運スカウトは、土の上で、石をどけただけのごつごつした所に毛布にくるまり、ガスや、電気等、生活を裕かにする為發明され、実際に有益な、しかも便利である生活用具を使わずキャンプを行い、昼間歩くなら、景色も見え、危険も少しいハイキングなのに夜通し寒さ、雨の中を歩かなくてはならないのでしよう。

そう、大自然の中に入る為、体をきたえる為、きびしさを知る為、そして隊長に云

シニアのページ

われたから、皆ながするから、スカウトはそうするものなんだよと教えられたから。

でも良く考えると違うような気もするしといういろいろスカウト諸君も考え、元氣良く答えることと思います。

でも今迄僕の話してきたこと以外に、もっと大切なものがある様な気がするのです。スカウトには規律があり、進級制度もあり、いつの間にか、自分で気付くことなく、どうしてその規律に従っているのか、ということを考えずにいる事が毎週の集会でも多いのです。

それはスカウト生活に限らないことなのですが、リーダーは土曜日の集会をとうして感じるのです。

これから、冬に向い家の中で、クリスマスパーティー、正月の準備と忙しい日々を過ごすことと思いますが、あと数回の今年の集会の中でもう一度静かに考えてみる必要があると思います。

報告

●団会議 十一月十一日 於階下講堂

出席者十三名

- 一、各隊行事報告
- 一、合同クリスマスに関して
- 一、記録カード（年内には全スカウトの個人記録を作成予定）
- 一、リーダー研修会 十八日（土）夜六時半 / BS、GSリーダーのべ二十七名参加。

飯牧師をおむかえして、教会とスカウトの関係等、夜中まで話しあった。

一、日赤救急法講集會 十一月十三日 / 十九日（於階下講堂）参加高校生以上。

●父兄総会 十一月十八日 於礼拝堂

出席者 年少隊十八名、少年隊六名、年長及青年隊十一名。

一、四十一年度会計決算報告

育成費一口百円三口以上に決定

一、行事報告

一、各隊別父兄会

一、各隊別父兄会 十一月十八日 於礼拝堂

一、行事報告

一、行事報告 出席者十三名

一、団会計赤字の解消対策についての討議

御父兄の皆さまへ

団会計についてのお詫びとお願い

団委員長 田中 正男

先般の父兄総会において、昭和四十一年度会計決算で七万円余り、さらに今年度の中間報告においても二万円余りの赤字が出て、その累積赤字は九万円となり年間予算二十七万円の団会計を危機におとし入れている事が判明した。勿論、それまでも気付かなかったわけではないが、特別会計の方の整理をおこたっていたため、これ程の赤字になっている事に気がつかなかったのが真相のようである。

この赤字の原因は、隊員数が予算時より減少したこと、リーダー交代等の際申しつぎの不手際から、年長隊に未収金があった事があげられるが、根本的な責任は父兄

教会クリスマス

十二月二十四日(日)午前十時十五分

クリスマス礼拝

十二月二十四日(日)午後七時

キャンドル・サーピス

十二月二十五日(月)午後一時〜四時

教会学校クリスマス

皆様のご出席をお待ちいたします。

側の会計委員が熱心に集金して下さったのに拘らず、予算の範囲迄はということでも赤字を承知で支出したことがあるので、今後の対策としては、予算額だけは何としても集めることと、支出の方も美藤副委員長を通してのみ行なわれる様に改善し、会計報告も毎月の団委員会報告して、毎月、会計を監査するようにした。

この対策はむしろ遅きに失したうらみはあるが、来月より早速実施する事にしていく。累積赤字の解消方法としては、一時、特別会計より借用したこと、数年の間に、なるべく早く解消するよう予算を組みたいと考えているので、御協力をお願いしたい。限られた紙面で要領を得ない説明になったが、不手際のお詫びと団会計立て直しへの協力をお願いする次第です。

編集後記

毎年のことながら、十二月をむかえると、この一年の早かったこと……

スマイルとかけて何となく

台風ととく

その心は 忘れたころやってくる

などと云われぬようにと、後半大いにハッスルしましたが原稿のとりたてで取税人のように思われ身を細めていたところ、BSの辻副長補がこれから編集に役かって下さることになり、もう一安心ノと感激しています。

今年一年の御協力を感謝しつつ、楽しいクリスマスと新年をおむかえになるよう、お祈りいたします。

スマイル 第八十四号

発行日 昭和四十二年十二月一日

発行人 田中 正男

編集人 杉原 正

発行所 港区赤坂一―一三一六

日本ボーイスカウト東京第四団